

令和 4 年度 学校評価シート

学校名：日高高等学校定時制課程 校長名：山本 直樹

目指す学校像・育てたい生徒像（スクール・ポリシー等に基づいて記載する）

社会生活を営む上で必要な基礎的・基本的な生活習慣、学力の定着を図り、自立した社会人を育成する。

学校評価の公表方法

ホームページを活用し広く公表していく

現状・進捗度	A	十分に達成している。（80%以上）
	B	概ね達成している。（60%以上）
	C	あまり十分でない。（40%以上）
	D	不十分である。（40%未満）

自己評価（分析、計画、取組、評価）

番号	計画・取組				評価（3月24日現在）		
	重点目標	現状	具体的取組	評価項目と評価指標	進捗度	進捗状況	今後の改善方策
1	基本的な生活習慣の確立	高校入学までに不登校を経験し、生活のリズムが崩れ基本的な生活習慣が身についていない生徒が多い。	登校時などにおける挨拶の励行、欠席等の連絡の徹底。	登校時の挨拶や時間を守ることの徹底。家庭への連絡を密にして連携して行うことができたか	A	生徒への挨拶指導、欠席・早退時の家庭連絡を徹底した。	スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーとの連携を引き続き円滑に行い、支援を広げていく必要がある。また、教職員への現職教育を行う。
			不登校生徒減少への支援体制の充実。	スクールカウンセラー等の教育相談活動を充実し、一定の改善がみられたかを定期的に行い、指導・支援の見直しをおこなう。	A	スクールカウンセラーと生徒との面談を各学期で全員に実施した。	
			休・退学の減少に向けた家庭との連携や個人面談・三者面談の実施と、必要に応じて外部機関との連携を図る。	生徒・保護者と十分な面談を行い、共通認識を得て指導できたか。	A	不登校になった生徒・保護者に対して保健所と連携し、面談を行った。	
2	社会生活を営む上で必要な基礎的・基本的な学力の定着を図る	高校入学までの不登校経験や軽度の発達障害により、義務教育レベルの基礎的な学力が定着していない生徒が多い。	生徒の学ぶ意欲を引き出すための働きかけや個々の学習状況等を観察する。	定期的な授業見学及び生徒へのアンケートの実施。	B	授業アンケートの実施と振り返り、情報共有を行った。	授業アンケートを1・2学期中間考査後に実施し、授業改善を行う。また、夏期休暇中に学習セミナー等を行い、進路・資格に向けて基礎学力定着をすすめる。
			基礎学力の定着を目指し、学力低下による休退学の減少に向けた学習補充や個人面談の実施。	各教科横断的な取り組みが行われるように共通認識を図れているか。	A	習熟度別授業、学習セミナーを実施することで、個別指導ができた。	
			家庭との連携を密にし、学習状況や成績の情報共有を図ると共に、家庭の協力を得る。	学習状況等を教員間で情報共有されているか。	A	各学期の成績について生徒・家庭への連絡を密にし、理解を得た。	
3	将来の生き方、在り方を見つめ、未来を切り開く力を養い、自立した社会人を育成する	卒業年度においても進路意識が低く、自分のしたいことがわからない状態の生徒が多い。	進路LHRやガイダンスの充実。	外部講師による講話/講演は効果的であったか。	B	講演により、生徒の興味関心が高まった。	進路意識が低い生徒が多く知識不足でもあるため、1年生から就職ガイダンス・工場見学や高等教育機関の仕組みの講演等を通じて、早期に目標を持たせる。
			企業研究や面接指導の充実。	応募前職場見学を実施できたか。	A	就職希望者は全員、見学と面接練習に参加した。	
			新規求人企業の開拓及び関係機関との連携。	地元企業訪問の実施と関係機関との連携ができていくか。	C	ハローワークとの連携を行ったが、新規企業の開拓はできなかった。	
4	自他の生命と人権の尊重	高校生として他者の生命を守るための技能を養う必要がある。いじめや様々な差別の問題に対する意識が低く、無意識のうちに問題行動をとる生徒が少数ながら存在する。	交通安全教室の実施。	交通安全テスト・およびアンケートにより生徒の意識が高められたか。	B	交通安全教室・テストを実施し、自転車マナーを徹底した。	防災教室については、引き続き可能な範囲で体験を重視して実施する。人権 LHRについては、SNS 関連など現状にあったテーマを選んで実施し、生徒が自己判断できる力をつけさせる。
			災害教室の実施。	災害発生時の安全確保と、高校生としての責任ある行動が意識できるようになったか。	B	地震・火災・津波の防災教室を実施した。	
			人権LHRでの人権講話や社会人として必要な人権意識の定着。	さまざまな人権問題を意識することができたか。また、問題解決の手段を自ら考え表現することができるようになったか。	A	いじめアンケートと人権 LHR を実施した。	

学校関係者評価（3月1日実施）

○生徒一人一人の事を理解し、課題にそった指導がなされていると思います。

○授業参観をさせていただき、熱心な先生方のご指導に引き込まれます。子ども達も学ぶ姿が積極的で、定時制の良さを広く地域に知って頂く事ができれば良いと切に思います。

○2年続けて入学者数が8人以下となっていることがとても気になりますが、定時制の将来はどうすべきか話し合っていくことが大切ですので、微力ですがご協力したいと思います。

○定時制について、一般の方々の認知が低いように感じられます。高卒資格は通信制等も含め多様な形でとれる世の中ですが、将来的につまずいた時に親身になって相談できる環境を子供達に提供できるのは定時制ならではの強みだと思うので、ぜひ、存続してもらいたいです。

外部による学校評価については、どの項目もおおむね良好であった。